

令和7年度版「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」【指扇中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題>各科目の領域ごとに、知識・技能の理解度の偏りが顕著である。 <指導上の課題>各単元の内容が生徒に印象付けられておらず、繰り返し学ぶ時間や指導の個別化が充分ではない。学習意欲を高める工夫が必要である。(学びの動機付け)	⇒ デジタル教科書やスタディサプリ等を活用する際、生徒のつまずきを机間指導等を通じて把握し、習得につながる支援・助言を行う。また、自身で学ぶ手段を選択できる時間を設定する。【R7年度さいたま市学習状況調査の教科の調査項目において、各教科の領域ごとの標準偏差が25pt以下】
思考・判断・表現	<学習上の課題>与えられた情報から判断して考察したり、自事として捉えながら、自身の考えを表現したりすることが課題である。 <指導上の課題>ICTを通して生徒間で意見を共有したり、議論したりする「ICTを活用した協働的な学び」が充分に実践できていない。	⇒ 生徒同士の協働的な活動を重視し、ICTを活用して考えを共有したり、それを基に議論したりする。また、学校課題研究ESDにより、生徒が自分事として捉える姿勢の基盤を形成する。【R7年度さいたま市学習状況調査の教科の調査項目において、各教科で表現力をねらいとした設問に対する本校の正答率とさいたま市平均値との差が5pt以上高い】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現	結果提供(2月)	

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①調査結果の振り返り(4月) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

調査結果分析(7~8月)
 ①結果分析(管理職・学年主任等)
 ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	中間評価(9月)	目標・策の見直し	
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)